

【京都大学 大学院人間・環境学研究科 共生人間学専攻 言語科学講座 言語比較論分野 (准教授または教授) 公募】

2019年7月16日

職種	准教授または教授
募集人員	1名
所属および勤務場所	教員組織：京都大学人間・環境学系 教育研究組織：京都大学 大学院人間・環境学研究科 共生人間学専攻 言語科学講座 言語比較論分野 (所在地：京都市左京区吉田二本松町)
専門分野	ロシア語学・ロシア語教育学・スラヴ語学、並びにこれらの関連領域
担当授業科目など	下記の授業科目（いずれも原則として半期科目）および論文指導 (1) 大学院 人間・環境学研究科：自然言語論、言語比較論特別演習など (2) 総合人間学部：言語科学ゼミナール、言語機能論演習など (3) 全学共通科目： (i) 言語科学関係科目：言語科学（半期科目で数年に一度） (ii) 外国語科目：ロシア語Ⅰ（初級）、ロシア語Ⅱ（中級）合計して前・後期各4コマ
着任時期	2020年4月1日
応募資格	次のすべての条件を満たすこと (1) 専門分野（ロシア語学・ロシア語教育学・スラヴ語学、並びにこれらの関連領域）における博士の学位を有するか、またはこれと同等の研究業績を有すること (2) 専門分野（ロシア語学・ロシア語教育学・スラヴ語学、並びにこれらの関連領域）における十分な研究遂行能力を有すること (3) 大学院・学部での教育・指導を行う能力を有するとともに、これに積極的に取り組み大きく貢献できること (4) 全学共通科目の担当や学内諸業務を熱意と責任感を持って行う能力を有すること (5) 大学におけるロシア語およびロシア語学関連科目の教育歴を有することが望ましい (6) 本学におけるロシア語教育に積極的に取り組み大きく貢献できること (7) 日本語母語話者でない場合は、教育や学内諸業務を担うに十二分な日本語運用能力を有すること
勤務形態	常勤（任期なし）、専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
試用期間	あり（6か月）
社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
提出書類	(1) 履歴書（様式自由。高等学校卒業以降の学歴・職歴を記載。電話番号・電子メールアドレス、所属学会も記載）6部 (2) 研究業績一覧（著書（単著）、著書（共著）、論文（査読あり）、論文（査読なし）、その他に分け、発表順に記載。出版予定のものには、出版証明書等を添える）6部 (3) 主たる研究業績（出版済の博士論文を含む）5点（抜き刷り・コピー可）各6部。うち少なくとも

	<p>も1点はロシア語で書かれたものであること。5点ともに200～400字程度の日本語要約を付ける。</p> <p>(4) これまでの研究概要と今後の研究計画（日本語2,000字程度） 6部</p> <p>(5) 学部・大学院の専門教育に関する実績および抱負（日本語2,000字程度） 6部</p> <p>(6) これまでのロシア語教育に関する実績、および、本学でのロシア語教育への貢献の展望（ロシア語1,000語程度およびその日本語訳） 6部</p> <p>(7) 科学研究費補助金等の競争的資金の獲得状況 6部</p> <p>(8) 応募者について照会可能な方2名の氏名・連絡先 1部</p> <p>*提出書類は原則として返却しませんが、著書・博士論文等については申し出があれば着払いにて返送します。</p>
書類送付先	<p>〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科長宛</p> <p>*提出方法は郵送に限ります。封筒または封緘した包みの表に「言語科学講座（言語比較論分野）教員応募書類在中」と朱書きし、書留便にて送付のこと。</p>
応募締め切り	2019年8月30日(金) 必着
選考方法	<p>提出書類に基づいて選考します。選考の過程で面接を行うことがあります。その際の旅費・滞在費等は応募者の自己負担とします。また、面接の際に模擬授業をしていただく場合があります。選考結果は、学域会議決定後に通知します。</p>
問合せ先	<p>京都大学大学院人間・環境学研究科 言語科学講座 河崎 靖</p> <p>E-mail: GGB00753@nifty.com</p> <p>なお、電子メール以外による問い合わせは受け付けません。</p>
男女共同参画	京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。
その他	<p>提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。</p> <p>正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</p> <p>人間・環境学研究科については下記のwebページをご覧ください。</p> <p>http://www.h.kyoto-u.ac.jp/</p> <p>なお、地球環境学堂へ流動教員として異動の可能性があります。</p>